

中部大学通信



SINCE 1967

No. 229

May 2024

ウプト

w p w t



ウプトとは、古代エジプトのヒエログリフ（象形文字の一種）で、「伝達する人」の意味。エジプト古王国の碑文などに見られ、19世紀初めにフランスのシャンポリオンが解読している。



特集

4月1日開催、2024年度入学式でのクラブ勧誘の様子

2024年4月 メディア情報社会学科誕生

2024オリンピック・イヤー パリ五輪を楽しもう！

副学長、教職課程センター長、
幼児教育学科
花井 忠征 教授

2024年7月、100年ぶりにパリで五輪が開催される。2020東京五輪の閉会式で、次回開催を予告するパリの映像が流れ、エッフェル塔の横をアクロバット飛行チームが国旗色のスモークを出しながら飛び、セーヌ川で開会式を行うアナウンスには驚かされた。さすがセンスあふれるパリだなと感動した。見たことのない演出を楽しみにしよう。

昨年来、世界選手権などパリ五輪の出場権をかけた予選が行われ、日本の競技チームや個人選手が続々と出場を決めている。特に感動したいくつかを挙げてみる。

まずは卓球女子チームの感動的な予選突破である。決勝では中国に一步及ばなかったが、素晴らしいゲームの連続であった。パリ五輪では打倒中国を見てみたい。選手の活躍もさることながら女子チームを率いる渡辺武弘監督を忘れてはならない。渡辺監督は本学の全学共通教育部健康とスポーツ教育プログラムの教授である。世界卓球選手権のテレビ放送で、日本選手が得点をあげるたびに笑みを浮かべて拍手を送っている姿はとても印象的であった。パリ五輪では、女子選手の活躍だけでなく、ぜひ渡辺先生を応援していただき、楽しんでもらいたい。

次にバスケットボールである。男子は、ワールドカップでアジア1位になり、48年ぶりに自力で出場権を獲得した。最終のカーボベルデ戦は手に汗を握る熱戦を制して勝利した。思わず歓声を上



今年2月に韓国・釜山にて開催された世界卓球選手権大会
画像提供：卓球王国

CONTENTS

桃園四季 P01

2024オリンピック・イヤー
パリ五輪を楽しもう！

花井 忠征 副学長・教授

特集 P03

2024年4月 メディア情報社会学科誕生

Close Up P05

AIの課題に立ち向かう

TOPIC P07

2023年度就職状況

学生編集委員のページ P09

中部大学防災対策協議会の
職員に聞いた！防災対策

ようこそわが研究室へ P11

日本古代・中世史を対象に幅広く研究
水野 智之研究室

わがクラブ P12

年3回の公演を部員全員で作りに上げる
演劇部

A Friend from Abroad P13

日本とベトナム、
両国間の架け橋になりたい
デイントウ チャさん

私の学生時代 P14

学びを通じて人と出会い、
新たな自分を発見
鈴木 順子教授

CAMPUS NEWS P15

2024年度入学式 etc.

教員紹介 P20

新任の教員を紹介します。

Random Shot P21

女性活躍推進業務の一端も担当
飯沼 友季子さん

活躍するOB P22

デザインの力で
製品と企業の価値を高める
川合 辰弥さん

げてしまった。NBA・レイカーズの八村塁選手にはぜひ日本
チームに合流してもらい、パリで大暴れしてほしいものである。女
子も予選グループで1位となり、出場権を獲得した。男子同様に
最終戦では白熱した接戦の末の勝利であった。東京五輪で銀メダ
ルに輝いた女子チームに大いに期待したい。

そして、競泳の池江璃花子選手である。白血病を克服し、東京
五輪ではリレーメンバーとして復活し、パリ五輪では念願の個人
100メートルバタフライで出場を決めた。三大会連続出場の偉
業である。大病を克服しての池江選手の努力は、想像を絶するも
のである。心より尊敬する快挙である。五輪での活躍を心から
応援したいものである。

若者スポーツとしてパリ五輪で採択されたブレイクダンスにも
注目したい。

世界トップアスリートたちは、私たちに挑戦する勇氣、諦めな
い精神力、友情と平和の心などさまざまなことを教えてくれる。
アスリートの卓越したパフォーマンスとともに、彼らのスポー
ツマンシップにも注目してパリ五輪を楽しもう。



団体戦で銀メダルを獲得
(前列中央が渡辺教授)
画像提供：卓球王国



花井 忠征

はない ただゆき

日本体育大学大学院体育学研究科修了(体育学
修士)。岐阜大学博士(医学)取得。専門は体育
学、バスケットボール、スキー。スキーは、全日本
スキー連盟教育本部の東海北陸ブロック技術員
として指導員の養成をしていた。趣味は熱帯魚
飼育。最近我が家の一員になった保護猫とくつ
ろぐことが楽しみ。

2024年4月

メディア情報社会学科

誕生

2024年4月、コミュニケーション学科はメディア情報社会学科に進化しました。
メディア文化情報キュレーターおよびメディア文化情報クリエイターを育成します。
今回の特集では、メディア情報社会学科について紹介します。

人文学部長からのあいさつ



柳谷 啓子 教授

人文学部では、5学科体制で「人間とは何か」を根源的に究明する最先端の研究成果を提供し、学生の自発性や独創性を促し、豊かな教養をもった品位ある人材を育成してきました。

メディア情報分野にソーシャルメディアをはじめとする先端技術を用いたメディア消費形態の分析・研究・実践の必要性、また、他方で、地域情報資源のデジタル化・保存・蓄積・継承による情報社会分野的対応も重視されるようになりました。そこで、コミュニケーション学科の進化形として、両分野を合わせた「メディア情報社会学科」を新たに設置いたしました。

教育内容

現代メディア社会に必要なのは、情報の本質と価値を見極めるキュレーション能力、地域の幸せを想う公益心、そして情報を発信して伝えることができるクリエイション能力です。人文学部コミュニケーション学科はメディア情報社会学科へ生まれ変わり、これまで以上に実践力を身につけられる授業を行い、次世代で活躍できるキュレーターとクリエイターを育成します。

学科専門教育科目 PICK UP

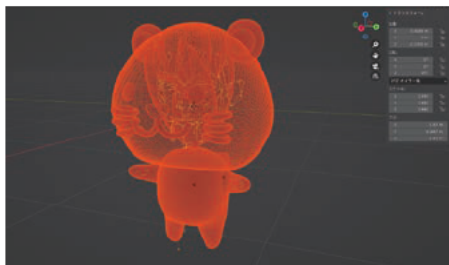
01 映像 クリエイション

本格的なスタジオを利用して、テレビ番組、ラジオ番組がどのように制作されているのかを実践的に学びます。



02 コンピュータ グラフィックス

CG制作ツールを利用してコンピュータグラフィックスの手法や情報デザインの表現について学びます。



03 メディア情報社会 プロジェクト

企業や行政との交流が不可欠なコンテンツ制作による地域貢献を通して、コミュニケーション能力、人間力、実践力を磨きます。



価値のあるメディア情報を選択する視点を養い、
効果的に美しく提供・発信するスキルを身につける。



学科の特長 1

少人数で主体的に学べる授業

伝えるべき情報、残すべき情報を正しく選択するため、強い探究心と着実な調査・分析能力を身につけます。



学科の特長 2

実践力が身につく充実した環境

PCルームやスタジオでのメディア実習や、学内外での成果公表の機会を通して、社会のさまざまな場面で役立つ実践的な本物の発信力を習得します。



CURATOR × CREATOR

情報社会コース

一般系

社会学・言語学・心理学などのメディア情報社会に関する理論科目や、キュレーションスキルズ科目、クリエイションスキルズ科目などをまんべんなく習得して、卒業後は公務員や一般企業営業系職種で活躍できる人材を目指します。

司書資格取得

メディア情報社会に関する理論科目や、量的社会調査票・質的社会調査票・取材学・地域情報アーカイブ論などのキュレーションスキルズ科目などに加えて司書課程の「図書館に関する科目」を履修することで司書資格を取得し、卒業後は司書他、情報サービス関連職種で活躍できる人材を目指します。

メディア情報コース

クリエイター系

写真撮影技法・コンピュータグラフィックス・アニメーション制作技法・映像クリエーション・サウンドクリエーションなどのクリエイションスキルズ科目を重点的に履修することで、卒業後にクリエイターとして印刷・出版・広告業界などで活躍できる人材を目指します。

工学部情報工学科副専攻取得

メディア情報社会学科の専門科目に加えて、工学部情報工学科を副専攻として、情報理論・画像情報処理・知能情報工学などを履修することで、卒業後はデザイナーや情報産業系の職種で活躍できる人材を目指します。

こんな資格を目指せます

司書

学芸員

高校教員(公民)

日本語教員

その他、学科が奨励する資格としては、ITパスポート、カラーコーディネーター、デジタルアーキビスト、Webデザイン技能検定、マルチメディア検定、CGクリエイター検定、CGエンジニア検定、Adobe認定プロフェッショナルなど



工学部情報工学科 山下隆義研究室 × 工学部ロボット理工学科 藤吉弘亘研究室

AIの課題に立ち向かう

機械知覚&ロボティクスグループ【Machine Perception and Robotics Group】

MPRG



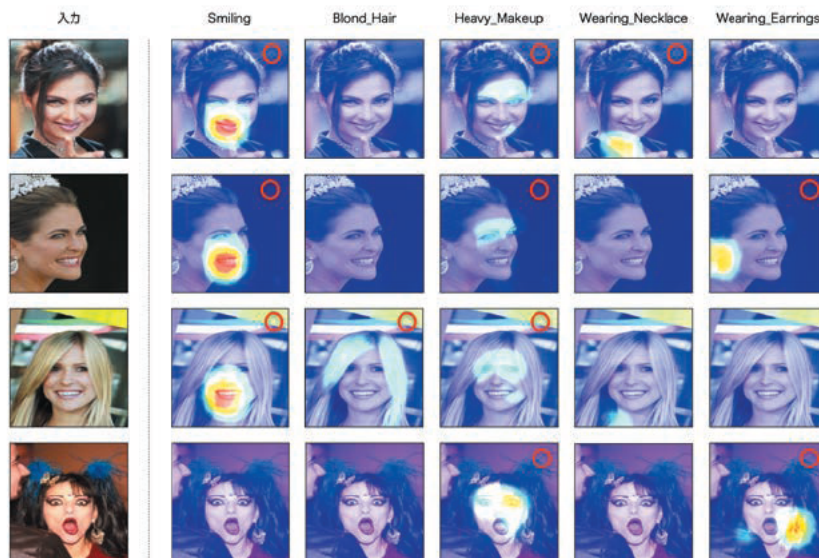
MPRGのメンバー(前列左から4人目が山下教授、5人目が藤吉教授)

工学部情報工学科の山下研究室とロボット理工学科の藤吉研究室は、機械知覚&ロボティクスグループ…Machine Perception and Robotics Group、略してMPRGとして合同で研究グループを運営しています。所属する学生は、博士後期課程8人(うち社会人ドクター4人)、博士前期課程27人、学部4年生17人の52人と大所帯です。MPRGでは、人の視覚認知機能をコンピュータに持たせるコンピュータビジョンの研究を行っています。例えば、車載カメラで前方の車や歩行者の位置を見つれたり、道路の白線を認識したりする機能です。これらの機能を実現するアルゴリズムを、ディープラーニングという人工知能を支える技術を活用して研究しています。ディープラーニングは、人の脳の認知機能を参考にしたニューラルネットワークを大規模化した技術です。今話題のChatGPTなど生成AIにも活用されています。ディープラーニングを活用することで人のような高い精度を達成できます。しかし、なぜそのように認識したのか?という判断根拠が不明確です。そこでわれわれは、ディープラーニングが認識結果を出力する

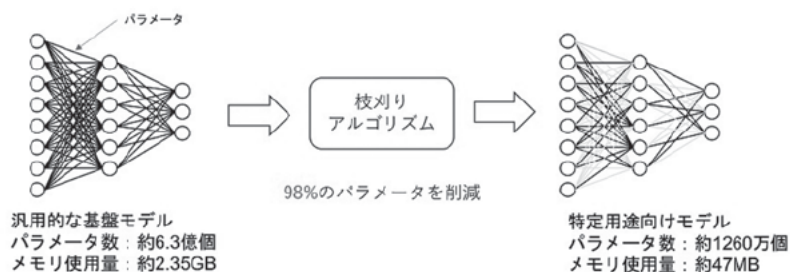


山下 隆義 教授

研究や講義などの合間にコーヒーを入れて少し休憩するひとときが大好きです。また、学生の実験室にふらっと立ち寄って作業を依頼したり、雑談したり、神出鬼没です。



◀Aが認識時に注目している箇所
(赤色ほど注目度が高い)



◀枝刈りによるAIモデルのコンパクト化

際、どこに着目して認識したかを示す技術を開発しました。これにより、ディープラーニングの判断根拠を人が把握することができるようになります。

さらに、ディープラーニングには、認識モデルのサイズが非常に大きいという問題もあります。モデルサイズが大きいと、手元のパソコンで処理することができず、また消費電力も高いです。ディープラーニングの認識モデルは、人の脳にあるニューロンのように、たくさんの繋がり（^{つな}）で表現されています。この繋がりの中には、本来必要としない冗長なものもあります。われわれは枝刈りという手法により、不要な繋がりを見つけて削除する技術を開発しました。これにより、モデルサイズをコンパクトにでき、認識モデルをどこでも利用できるようになります。

MPRGでは、人工知能が社会で幅広く活用されるように、ディープラーニングの抱える課題を解決する研究を行っています。このような研究ができるのも、異なる学科に所属する学生が互いに学んだ知識を共有して、日々楽しく、活発に研究しているおかげです。

(文責：山下隆義教授)



2023年度進路状況

求人社数

21,099 社

就職率

99.8 %

就職者数 ÷ 就職希望者数

実就職率

95.4 %

就職者数 ÷ (卒業者数 - 国内大学院進学者数)

2023年度卒業生の 教員・保育士採用者数

高等学校	正規教諭	講師
	2人	7人
中学校	正規教諭	講師
	7人	12人
小学校	正規教諭	講師
	25人	11人
幼稚園	正規教諭	講師
	12人	1人
保育園	正規保育職	うち 公務員保育職 23人
	31人	
認定こども園	正規職員	
	3人	
特別支援学校		講師
		5人

※講師には非常勤講師を含む。

2023年度卒業生の 国家試験受験状況

生命健康科学部			
看護師	受験者	94人	合格率 96.8% (全国合格率 93.2%)
	合格者	91人	
保健師	受験者	7人	合格率 100% (全国合格率 97.7%)
	合格者	7人	
臨床検査技師	受験者	31人	合格率 93.5% (全国合格率 88.0%)
	合格者	29人	
理学療法士	受験者	44人	合格率 97.7% (全国合格率 95.3%)
	合格者	43人	
作業療法士	受験者	28人	合格率 100% (全国合格率 91.6%)
	合格者	28人	
臨床工学技士	受験者	41人	合格率 90.2% (全国合格率 87.9%)
	合格者	37人	
救急救命士	受験者	39人	合格率 100% (全国合格率 97.0%)
	合格者	39人	
応用生物学部			
管理栄養士	受験者	56人	合格率 75.0% (全国合格率 49.3%)
	合格者	42人	

※管理栄養士の全国合格率は新卒者・既卒者全体の合格率。

2023年度の進路状況について

今年3月に卒業された皆さんは、入学の年に新型コロナウイルス感染症の流行が始まり、長い間、制限された学生生活を送ることを余儀なくされましたが、就職率は99%を超え、努力がしっかり実を結ぶ形となりました。この結果は、現在就職活動中の学生、私たち教職員にとって大きな励みになります。皆さんの、どのような状況下にあっても前進する勇気と、たゆまぬ努力に拍手を送りたいと思います。そして、日頃より本学に温かいご支援をいただいている企業の皆様に、心より御礼申し上げます。一人ひとりの進路実現に向けて、今後も学生と共に努力を続けてまいります。引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

キャリア支援課長 佐久間 陽子



学生の皆さん

どのように就職活動を進めたらよいのか分からず困っている方、自分に合った職業、企業がわからずうまく活動できていない方はいませんか？キャリア支援課では経験豊富なスタッフが学生の皆さん一人ひとりに向かい、全力で進路実現のサポートをしています。気軽に相談に来てください。



2023年度の進路先の一例

建設業

(株)一条工務店、NECネットエスアイ(株)、NDS(株)、(株)大林組、(株)関電工、(株)熊谷組、五洋建設(株)、シーキューブ(株)、清水建設(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、(株)トーエネック、徳倉建設(株)、戸田建設(株)、中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)、日本国土開発(株)、パナソニックホームズ(株)、(株)フジタ、ミサワホーム(株)、名工建設(株)、矢作建設工業(株)

製造業

〈鉄鋼業・非鉄金属・金属製品〉中央発條(株)、(株)パロマ、文化シャッター(株)、YKK AP(株)、(株)神戸製鋼所、(株)アーレスティ、SWCC(株)、三菱マテリアル(株)

〈化学・医薬・食品〉アース製薬(株)、(株)伊藤園、(株)イノアックコーポレーション、キューピータマゴ(株)、三生医薬(株)、敷島製パン(株)、住友理工(株)、積水樹脂(株)、大日本塗料(株)、(株)ニチレイフーズ、フジパングループ本社(株)、三菱ケミカル(株)、山崎製パン(株)、横浜ゴム(株)

〈産業機械〉NECプラットフォームズ(株)、エンシュウ(株)、オークマ(株)、CKD(株)、芝浦機械(株)、(株)ダイフク、DMG森精機(株)、THK(株)、日本トムソン(株)、日立建機(株)、ヤマザキマザック(株)

〈電気・電子・情報通信機器〉愛知電機(株)、イビデン(株)、オムロン(株)、キオクシア(株)、(株)小糸製作所、(株)JVCケンウッド、スタンレー電気(株)、住友電装(株)、多摩川精機(株)、(株)デンソーウェーブ、(株)デンソーエレクトロニクス、東芝テック(株)、日本航空電子工業(株)、富士電機(株)、プライムアースEVエナジー(株)、三菱電機(株)

〈輸送機器関連〉アイコクアルファ(株)、愛三工業(株)、(株)アイシン、アイシン辰栄(株)、エンケイ(株)、スズキ(株)、(株)SUBARU、太平洋工業(株)、(株)ティラド、(株)東海理化電機製作所、豊田合成(株)、トヨタ自動車(株)、豊田鉄工(株)、トヨタ紡織(株)、日産自動車(株)、日本飛行機(株)、本田技研工業(株)
〈精密・光学・レンズ・医療〉愛知時計電機(株)、テルモ(株)、日本光電工業(株)、(株)メニコン

〈その他〉タカラスタンダード(株)、ニチハ(株)

商業

〈商社〉(株)スズケン、東海エレクトロニク

ス(株)、トヨタモビリティパーツ(株)、矢崎総業(株)、横浜冷凍(株)

〈流通〉イオン(株)、(株)ATグループ、NTP名古屋トヨペット(株)、日清医療食品(株)、(株)ニトリ、(株)ファーストリテイリング

金融業

〈信金〉岡崎信用金庫、瀬戸信用金庫
〈銀行〉(株)十六銀行、(株)名古屋銀行、(株)百五銀行、(株)りそな銀行
〈生命損害保険〉東京海上日動火災保険(株)
〈その他〉(株)十六フィナンシャルグループ

サービス業

〈情報通信〉伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)講談社、中部テレコミュニケーション(株)、デンソーテクノ(株)、(株)東海理化アドバンスト、(株)トヨタシステムズ、(株)日立ソリューションズ・クリエイト、富士ソフト(株)、富士通(株)、(株)マイナビ、三菱電機ソフトウェア(株)

〈宿泊業〉アパホテル(株)、(株)名古屋東急ホテル、(株)ニュー・オータニ、(株)星野リゾート、リゾートトラスト(株)

〈旅行代理店〉JTBグループ、(株)日本旅行、名鉄観光サービス(株)

〈その他サービス〉ANAベースメンテナンステクニクス(株)、NTTデータ先端技術(株)、(株)オリエンタルランド、セコム(株)、総合警備保障(株)、日本食品分析センター、(株)日立ビルシステム、三菱電機エンジニアリング(株)、三菱電機ビルソリューションズ(株)

〈その他(協同組合)〉あいち知多農業協同組合、あいち中央農業協同組合、アルプス農業協同組合、遠州夢咲農業協同組合、全国酪農業協同組合連合会

医療

〈病院〉愛知医科大学病院、一宮市立市民病院、磐田市立総合病院、大阪大学医学部附属病院、岡崎市民病院、岐阜県立多治見病院、京都府立医科大学附属病院、公立陶生病院、国立病院機構名古屋医療センター、小牧市民病院、静岡市立静岡病院、市立四日市病院、豊橋市民病院、名古屋掖済会病院、名古屋市立大学病院、名古屋大学医学部附属病院、名古屋徳洲会総合病院、長野県立こども病院、日本赤十字社(愛知医療センター名古屋第一病院、愛知医療セ

ンター名古屋第二病院、岐阜赤十字病院、高山赤十字病院)、浜松医科大学医学部附属病院、藤田医科大学病院、三重大学医学部附属病院、名城病院

〈その他〉岐阜県公衆衛生検査センター、静岡県生活科学検査センター

教員

公立小学校教員(愛知県、岐阜県、静岡県、富山県、福井県、新潟県、滋賀県、神奈川県、名古屋市)、公立中学校教員(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県)、公立高校教員(愛知県、岐阜県)、公立保育職(名古屋市、一宮市、春日井市、小牧市、刈谷市、豊田市、多治見市、浜松市、磐田市、小矢部市)

公務員

国土交通省、防衛省航空自衛隊、林野庁、愛知県庁、岐阜県庁、福井県庁、一宮市役所、大垣市役所、岡崎市役所、春日井市役所、岐阜市役所、小牧市役所、高山市役所、豊田市役所、長野市役所、名古屋市役所、浜松市役所、富士市役所、船橋市役所、四日市市役所、愛知県警察本部、鹿児島県警察本部、岐阜県警察本部、警視庁、福井県警察本部、小樽市消防本部、東京消防庁、名古屋市消防局

その他

〈通信業〉(株)岐阜放送、CCNet(株)
〈電力・ガス・水道〉関西電力(株)、中部電力(株)、中部電力ミライズ(株)

〈不動産取引〉住友不動産販売(株)、東急リバブル(株)、(株)ニッショー、ハウスコム(株)、三菱UFJ不動産販売(株)

〈輸送〉アジア航測(株)、伊勢湾海運(株)、ANAエアポートサービス(株)、近畿日本鉄道(株)、(株)JALスカイ、全日本空輸(株)、東海旅客鉄道(株)(JR東海)、名古屋港管理組合、名古屋高速道路公社、名古屋鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)、日本通運(株)、ヤマト運輸(株)

進学/大学院

滋賀大学大学院、信州大学大学院、千葉大学大学院、中部大学大学院、東京工業大学大学院、名古屋大学大学院、名古屋工業大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、鳴門教育大学大学院、日本福祉大学大学院、山梨大学大学院

(順不同)



対

策



今回の学生編集委員のページでは、災害が起こった場合どのような行動をしたらいいのか、また中部大学がどんな対策をしているのか、職員の方々にご協力いただきお話を聞いてきました！



普段から行ってほしい災害対策は？

今年は元日に能登半島地震が発生しました。災害はいつ起きるか予測が不能です。友人と待ち合わせをしている時、教室にいる時、バス停にいる時など、今この瞬間、大規模地震等の災害が起きたらどのようなことが起こるのかイメージし、自分の安全確保をどのように行うかシミュレーションできるように行いたいと思います。そのためにも、中部大学では毎年10月第2水曜日15時10分より総合防災訓練を行っています。積極的に参加して、防災意識の向上に努めてほしいです。

防災対策協議会の活動内容とは？

大学は消防法に基づいた、防火・防災管理についての必要な事項を定めています。火災の予防および発災時の安全確保、被害の軽減を図るために消防計画を作成し、その計画に基づき活動を行っています。

具体的には、災害時に備え自衛消防隊を編成し、予防活動として防災講演会の開催、建物自主点検の実施や備蓄品の管理などを行っています。また、訓練として総合防災訓練、安否確認通報システム運用訓練、エレベーター閉じ込め救出訓練講習会などを防災対策協議会が中心となって行っています。

大学は災害に向けてどのような対策を行っているの？

非常用放送や自動火災報知等消防設備の点検・整備、地震に備えた建物の耐久性の確保など責任者による自主点検を毎年行っています。その他、災害発生時には大学より「安否確認通報システム」により必要に応じ電話、メールアドレスを利用し本人・家族の安否確認が行われます。今年発生した能登半島地震の際、対象地域出身の学生の皆さんの安否情報を迅速に収集することができ、必要な対応も行うことができました。定期的に訓練を行っています。定期的に電話番号、メールアドレスの登録確認と届いた連絡には回答をお願いします。

総合防災訓練の内容は？

総合防災訓練は、全体訓練と個別訓練に分けて実施しています。

全体訓練は大地震の発生から建物内での火災発生を想定した、屋外1次避難場所までの避難訓練を行っています。

個別訓練は、学内11箇所に分かれている地区を4つのグループに分けて主会場とし、春日井市消防本部にご協力いただき、通報訓練、AED(設置箇所はキャンパスマップに記載)・応急処置等の実技訓練、消火訓練(放水訓練、初期消火訓練)、救助訓練(ハシゴ車等)、避難所開設訓練などの、より現実に近い訓練を実施しています。



河村 明音
日本語日本文学科
3年



江口 心
日本語日本文学科
3年



伊藤 帆乃佳
日本語日本文学科
3年



西岡 夏実
ロボット理工学科
3年



塚本 愛美
ロボット理工学科
3年



熊野 千菜
環境生物科学科
4年

ウプト
学生編集委員の
私たちが企画・
取材しました





学生
編集委員
の
ページ

中部大学 防災対策協議会の 職員に聞いた!



防

災

災害により学内で授業が行える状況に ない場合どのような対応をするの?

春日井キャンパスの建物は全て耐震性を備えています。大規模地震等災害の発生により安全に授業を実施できないと判断される場合には、一時的に授業を止めざるを得ないと思います。もし、そういった場合でも早急に被災状況を確認し、できるだけ早く再開できるよう復旧に向けて全力で取り組みます。



中部大学にはどのくらいの 災害備蓄品が保管されているの?

現在災害用に、3000人の1日3食分の食料等を保管しています。具体的には、飲料水・食料(アルファ化米、缶詰、パン、ビスケット等の保存食)・保温用品(毛布や保温シートなど)・衛生用品(簡易トイレ、除菌剤など)・懐中電灯・LEDライト・発電機・乾電池・情報収集用品(携帯ラジオ、充電器など)・医療用品(救急セット)などを備蓄しています。

飲料水と食料については、計画的に購入を進めていまして、期限が近いものについては配布会を実施して希望する学生の皆さんに配っています。

学生の皆さんへのお願い

近年、私たちは多くの自然災害に直面しており、警戒されている南海トラフ地震もいつ起こってもおかしくない状況です。災害時のリスクを最小限に抑え、安全を確保するために、学生の皆さんと大学が協力して取り組むことが重要です。まずは、災害から身を守るため、自分の事として日頃から、防災意識を持ってほしいです。

また、災害時は食料の確保が困難になる可能性があるため、自分のロッカーの中にお菓子などを入れておくというのも一案です。常に自分はどちらにいいのかを考えることが重要です。

災害時は落ち着いて行動し、安全確保に努めるとともに、安否確認通報システム等で自分の状況を発信してもらいたいです。

大地震や火が発生した場合、 どのように対応したらいいの?

大学内にいる場合は、安全確保の後、教職員の指示や誘導に従い、1次避難場所に避難してください。もし、被災された方がいた場合、速やかに本部に連絡していただければと思います。また、被災されていない方は、自分の状況、家族の状況の把握と報告に努めてください。その後は、余震や2次被害の発生など状況に応じて指示が出るまで安全確保に努めてください。

自宅にいる場合は、安全確保に努め、自分の状況や家族の状況を把握の上、状況に応じて安否確認通報システム等で報告してください。

ウプト学生編集委員募集中

いつからでも始められます。少しでも関心のある方は、学園広報部制作課(2号館1階)までお越しください。電話、メールでもお問い合わせが可能です。

☎ 0568-51-4465 (学園広報部制作課直通) ✉ seisaku@office.chubu.ac.jp



阿部 倫弥
歴史地理学科
2年



吉村 希
国際学科
2年



小林 愛実
日本語日文化学科
3年

ようこそ

わが研究室

vol.183

歴史地理学科
水野 智之研究室

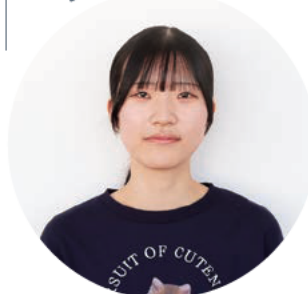
日本古代・中世史を対象に 幅広く研究

私たち水野ゼミでは、日本古代・中世史を研究対象としており、平安時代から戦国時代まで幅広いテーマに取り組んでいます。3年生の秋学期には、興味のある史実に関わりの深い先行研究や文献を集め、疑問点やまだ明らかにされていない課題を探り、研究のテーマに設定しました。例えば、私は、以前から平家物語に登場する女性に興味があったため、源平合戦期に活躍した女性芸能者についての研究を行っています。そして仮説を立て、史料集めました。今後は、本格的に史料をはじめとした文献を基に考察します。史料は、古文書や物語、県史・市史など幅広く使用します。

ゼミ内では定期的に各自の研究の進捗状況を報告し合っています。1人ひとりのテーマに取り組んでいます。お互いの研究に対して、報告を聞き、質問や意見を出し合っています。研究テーマはそれぞれ全く違うものですが、互いの研究テーマにも興味を示しながら気軽に意見交換ができるような、温かい雰囲気の中で研究に取り組むことができます。今後も活発に交流することで、互いの研究がよりよいものになるように、有意義な時間を過ごしていきたいです。



ゼミ生レポート



歴史地理学科4年
松井 玲香

ゼミ生に
ひとこと



人文学部 歴史地理学科
みずの ともゆき
水野 智之 教授

歴史学は史料に記されている事柄の意味を探ったり、いくつかの史料から出来事の推移を明らかにしたりするという、かなり複雑な考証を要します。そのため、最初はとても難しいと感じるのですが、史料や論文を何度も読み直し、少しずつ理解を深めていくことで、ようやく自分自身の考えにたどり着くことができます。未知のことを解明する醍醐味をぜひ味わってください。その努力が皆さん自身の将来を切り開く力になると思います。

先生はこんな人

水野先生は、穏やかでとても親しみやすい先生です。私たちが研究を進めていくに当たって、疑問点がある場合には親身に話を聞き、的確なアドバイスをしてくださいます。また、参考にするとい史料や論文などの提案もたくさんしてくださるので、より充実した研究を行うことができる点でも感謝しています。



わが クラブ

演劇部

Club News No.196

年3回の公演を 部員全員で作上げる



こんにちは。演劇部の部長を務めている、寺田です。私たち中部大学演劇部劇団「とらのあな」は、2〜4年生の24人の部員で活動をしています。

主な活動として、年3回の公演を行っています。4月後半〜5月前半頃に行く、新入生の勧誘を目

的とする「新入生勧誘公演」、夏のオープンキャンパスにて開催する新入部員のお披露目を目的とする「新入生歓迎公演」、中部大学祭で開催する「学祭公演」の3公演となります。

それぞれの公演ごとに2〜3カ月前から台本を決定し、そこから部員全員で一つの舞台の完成を目指していきます。その際には、役者、照明、音響、衣装、装置、小道具、制作、演出、舞台監督といった部署に分かれ、効率的な作業分担を行っています。また、公演1週間前には、「小屋入り」と称し、毎日活動し最後の仕上げを行います。

演劇部の特色としてさまざまな学部、学科の部員がいます。役者だけでなく、裏方を専門にしている部員もいるため、文系、理系を問わずに参加しやすくなっています。

本劇団では、YouTubeチャンネル、X（旧Twitter）、Instagramの運営も行っています。XとInstagramでは、普段の活動風景を投稿しているほか、公

演情報、活動、見学の時間帯などもたくさん投稿しているのでぜひチェックしてください。また、YouTubeチャンネル「劇団とらの穴」では、過去の公演のアーカイブを投稿しています！私たちが今まで作り上げてきた自信作ばかりなので、こちらもぜひご覧ください。もしこれを読んで少しでも興味を持ってくれたら、月、水、金曜日の授業後に2511講義室または2512講義室、もしくはクラブサークル棟3階の演劇部の部室を訪ねてください。皆さんの入部をお待ちしています。

YouTube
チャンネル



X
(旧Twitter)



Instagram



演劇部部長
コミュニケーション学科3年
寺田 拓人





File.111

Dinh Thu Tra

デイントウ チャさん

応用生物化学科4年

A Friend

from Abroad

ベトナム社会主義共和国(クアンニン省)
ベトナムの東北部に位置しており、省都はハロン市。人口は約136万人で面積は6,102km²。国内最大の石炭産地で、全国埋蔵量の約9割を占めており、石炭採掘や建設資材製造業が極めて盛ん。また、UNESCOにより世界自然遺産に登録されているハロン湾があり、観光業も非常に発達している。

日本とベトナム、 両国間の架け橋になりたい



Q. これまでの経緯と
学んでいることを教えてください。

幼少期に見た「ドラえもん」を通じて日本に興味を持ち、その頃から「日本に行きたい」という夢がありました。ベトナムの高校を卒業してから日本に留学し、日本語学校に2年間通ったあと、生物と化学に興味があったことから日本語学校の先生に応用生物化学科を勧められて、中部大学に入学しました。

Q. 学んでいることは何ですか。

応用生物化学科で、生物化学や分析化学、動物細胞工学などの生物と化学に関する科目を中心に学んでいます。また、化学や生物、遺伝子工学の基礎知識と技術を身につけるための実験に、マウス実験や、植物での交配なども行っています。研究室ではマウスを使った実験を通じて生命科学研究と社会のつながりを学び、卒業論文作成に向けて実験の技術も習得しています。

Q. 日本の中で好きな場所とその理由を教えてください。

好きな場所は京都です。京都にあるお寺には、美しい庭園や建築物が数多く存在し、日本の歴史や文化を感じることができます。特に印象に残っているのは、以前旅行で訪れた、秋の紅葉に彩られた清水寺です。自然豊かで風情があり、四季折々の風景が楽しめるところが、京都の魅力だと思います。

Q. 趣味は何かありますか。

趣味は写真を撮ることです。写真が趣味になったのは、良い写真が撮影できたときの楽しさが忘れられないからです。思い出を形として残せる写真にとっても魅力を感じました。写真で自分の物語を語ることができ、その画像を日記として記録に残したいと思います。今まで訪れた美しい風景、友達との写真は大事に保存していて、よく見返してその時のことを思い出します。

Q. 将来の夢を教えてください。

本学の実験動物教育研究センターや研究室で学んだ知識と経験を生かし、日本の企業で化学品事業の生産技術職に就きたいと考えています。具体的には、製造技術や品質保証に関わる仕事に携わりながら、私の専門知識や技術を存分に発揮していきたいです。さらに、日本とベトナムの共同所有の会社で働き、文化や言語に精通し、両国間のコミュニケーションやビジネスの促進に貢献し、架け橋になることを目指しています。



〈取材〉学生編集委員

阿部 倫弥 歴史地理学科2年(写真左)

伊藤 帆乃佳 日本語日文化学科3年(写真中左)

小林 愛実 日本語日文化学科3年(写真右)

第72回

私の学生時代

創造的リベラルアーツセンター 鈴木 順子 教授



学びを通じて人と出会い、新たな自分を発見

学生時代を振り返ってはじめて心に浮かぶのは、共に学んだ友人たちのこと、そして彼らと過ごした時間です。

特に少人数授業や自主的読書会のことを思い出します。一生懸命テキストを予習して臨んでも、皆で読んでい

くうちに、自分の解釈とはまったく異なる解釈に出会って驚かされたり、ワクワクさせられたりすること。他方、自分の限界を知って落ち込んだりすること。それらを繰り返しながら次第に読解力、理解力がついていった、あの手応えを忘れることができません。

また、博士論文が行き詰まってしまった時に、研究室で相談したところ、異分野の友人からさまざまな示唆を受けました。その後見事にそこから突破口が開けました。他分野の人と話すことでこんなにも飛躍が生まれるのかと、身をもって知りました。

ただ、学生時代が楽しいことばかりだったかといえば実は逆で、自分がちっぽけな存在にしか思えない時期だったことは確かです。

たとえば、フランス留学時、あまり

の研究の見通しの暗さ、孤独に、つらい日々が続きました。どうにか耐えて、帰国前に「あの頃とてもつらかったの」とフランス人の友人に話したら、「どうして言ってくれなかったの？そういう時にいるのが友達でしょ」と言われ、望外の優しい言葉に思わず涙がこぼれそうになったことがあります。この時の友の言葉はきつと一生忘れたいと思います。

他方、日本でも留学先でも、ディスカッションを多々経験しました。人の話を聞き、自分の考えを伝えるということがどんなに学びにおいて大切かを実感しました。

以上から、私は大学で人が成長するのは、双方向のやり取りがあるからだと思っています。学びを通じて人と人が出会う、そして新たな自分を見い

だす、そんな出会いと発見のある大学という場が、私は大好きです。そして今、デイスカッションを中心とするリベラルアーツ教育を実践できることに喜びを感じています。一人でも多くの学生の皆さんが、「中部大学の授業を通じて、いろいろな人、考えに出会えてよかった」と思い、その思い出を胸に社会に羽ばたいてもらえたらと、心から願っています。



▲ フランス留学中の筆者（前列左から2人目）



▲ 卒業式で恩師や友人と（中列左から2人目）

CAMPUS NEWS

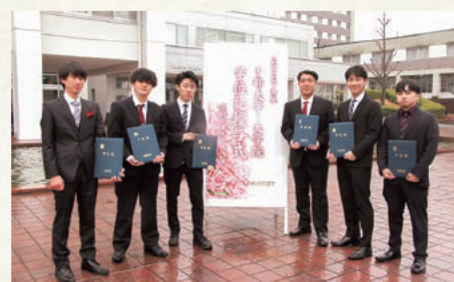
2024年度入学式

4月1日、学部生2,689人、3年次編入学生8人の計2,697人と大学院修士・博士前期課程152人、博士後期課程13人の計165人を迎えて、2024年度入学式が講堂(体育館)で行われた。式典への参加は新入生のみとし、3部制で行われ、付添者は不言実行館ACTIVE PLAZAに設けられたサテライト会場でライブ配信を視聴した。代表宣誓者は、荻崎璃実さん(建築学科)、山下敦士さん(日本語日本文化学科)、櫻井誠也さん(応用生物化学専攻博士前期課程)。



2023年度学位記授与式

3月23日、講堂(体育館)で学位記授与式が行われ、学部生2,359人、大学院生171人に学位記が授与された。3部制で行われ、式典への参加は卒業生・修了生に限定し、付添者は不言実行館ACTIVE PLAZAに設けられたサテライト会場でライブ配信を視聴した。代表謝辞は、土屋有希さん(応用化学科)、古澤彩華さん(コミュニケーション学科)、伊藤千賀子さん(作業療法学科)。



地域創成メディエーター学生発表会 「プラス・エクスプレッション」

2月15日午後、第10回地域創成メディエーター学生発表会「プラス・エクスプレッション」が開催され、プレゼンテーション発表が不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールで、ポスター発表が2階のスチューデント・commonsで行われた。今回はプレゼンテーション発表5人、ポスター発表34人の合わせて39人と3月4日に行ったポスター発表5人を合わせて44人が地域創成メディエーターの認定を受けた。



中部大学ボランティア・NPOセンター活動報告会

3月5日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA1階のアクティブホールで、中部大学ボランティア・NPOセンター活動報告会が開催された。5つのプロジェクトの年間活動報告と来年度のプロジェクトリーダーおよび活動予定が発表された。



学内業界セミナー

2月1～5・7～16日の11日間、学内業界セミナーが開催された。1～5日はオンラインで、7～16日は対面で第1学生ホールを会場に行われた。762社の企業が出展し、学生延べ2,750人が参加した。



クラブ紹介イベント 春一祭

4月2日午後、クラブ運営委員会と中部大学祭実行委員会が主催の春一祭が行われ、各クラブが10号館北広場特設ステージで新入生に向け活動紹介をした。ポスター掲示や各クラブの相談ブースも設けたほか、勧誘のピラ配りも行われた。



人文学部・理工学部新棟竣工式

3月6日午前、28号館の跡地に建設された人文学部・理工学部の新棟竣工式が行われた。新棟は人文学部心理学科の実験室、理工学部数理・物理サイエンス学科の研究室・実験室などが設置され、4月より使用開始した。



20号館1階ラウンジが リニューアルオープン



2階 カージックラウンジ



1階 スターバックス

昨年9月に20号館2階をカージックラウンジに整備し、今年4月に1階学生ラウンジがリニューアルされ、スターバックスが開店した。今回の環境整備により、学生同士の交流を促進し、より充実した学生生活の実現を目指し、また地域の方に利用していただくことで学生と地域との交流の場としての活用も期待される。

2023年度中部大学 次世代研究者挑戦的研究プログラム 活動報告会・シンポジウム

3月12日午前、不言実行館ACTIVE PLAZA1階のアクティブホールで2023年度中部大学SPRING「次世代研究者挑戦的研究プログラム」活動報告会・シンポジウムが行われた。活動報告会では、採用学生9人が自身の研究とプログラムでの活動内容について発表し、シンポジウムでは卒業生2人による講演が行われた。



留学フェア

4月10・17日、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで春の留学フェアが開催され、留学希望学生77人と留学経験者の学生43人、留学生17人が参加した。



スプリングコンサート

4月17日午後、キャンパスプラザ1階で2024年度スプリングコンサートが開催され、混声合唱団、管弦楽団、マンドリンクラブ、軽音楽部、シンフォニックバンドが出演した。



10人に名誉教授の称号授与

4月24日午前、名誉教授の称号授与式が行われた。授与されたのは、行本正雄前教授(機械工学科)、高橋誠前教授(応用化学科)、辻村宏和前教授(経営総合学科)、足達義則前教授(経営総合学科)、咸惠善前教授(経営総合学科)、黄強前教授(国際学科)、武藤久枝前教授(幼児教育学科)、石井洋二郎前教授(創造的リベラルアーツセンター)、津田一郎前教授(創発学術院)、山口作太郎前教授(超伝導・持続可能エネルギー研究センター)の10人。



2023年度第48回冬季課外教育活動 「スキー・スノーボードキャンプ」

2月13～16日の4日間、2023年度第48回冬季課外教育活動が開催され、4日間を通してスキーやスノーボード講習が行われた。4年ぶりに3泊4日で実施され、学生21人が参加した。



中部大学ボランティア・NPOセンターと 宮城県気仙沼市が連携協定を締結

2月20日、中部大学ボランティア・NPOセンターと宮城県気仙沼市が防災・減災および地域活性化などを目的として相互協力について協定を締結することとなり、気仙沼市役所において締結式が行われた。締結式では、菅原茂気仙沼市長と中部大学ボランティア・NPOセンター長・学生部長(当時)の伊藤守弘教授(スポーツ保健医療学科)が、協定書に署名を行った。



2023年度学生サポートセンター インターンシップ修了式・活動報告会

2月22日午後、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで2023年度学生サポートセンターインターンシップ修了式・活動報告会が開催された。2023年度は29人が修了し、うち16人が不言実行館賞を受賞。竹内芳美学長より修了証書が授与された。



阿部太貴さんが 一般社団法人電気学会産業応用部門で 論文発表賞を受賞

阿部太貴さん(工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程2年、長谷川勝研究室)が一般社団法人電気学会産業応用部門より論文発表賞を受賞した。この賞は、2023年中に開催された電気学会モータドライブ研究会における全論文数158件のうち優秀な研究と発表報告を行った上位14人に授与された。発表のタイトルは「インバータ直流電圧のアンバランスを考慮した二重三相永久磁石同期電動機のトルク微分値操作型トルク制御」。



刑部俊輔さんが令和5年度日本技術士会 中部本部修習業績発表会で 優秀論文発表賞を受賞

刑部俊輔さん(工学研究科建設工学専攻博士前期課程1年、余川弘至研究室)が2024年2月17日に開催された令和5年度日本技術士会中部本部修習業績発表会で優秀論文・発表賞を受賞した。受賞したテーマは「砂質土を対象とした気泡添加セメント改良材の施工性と強度に関する研究」。



坂井田愛理さんが 第68回プリマーテス研究会で 優秀ポスター発表賞を受賞

坂井田愛理さん(環境生物科学科4年、牛田一成研究室)が2024年2月4日に開催された第68回プリマーテス研究会で優秀ポスター発表賞を受賞した。発表のテーマは「キツネザル4種における腸内細菌の特徴比較」。



伊藤愛理さんが学生たちによるアイデア・ 企画募集コンテストで優良賞を受賞

伊藤愛理さん(国際学科3年)が愛知学長懇話会2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会専門委員会主催の「学生たちによるアイデア・企画募集コンテスト」で優良賞を受賞した。受賞した企画は「学生和楽器オーケストラ」。



地域貢献活動優秀者認定証の交付式

4月17日午後、春日井市役所にて地域貢献活動優秀者認定証交付式が行われた。地域連携住居に入居し、特に顕著な地域貢献活動の実績を有する学生に対して、春日井市長より高蔵寺ニュータウンの活性化推進に寄与したことが認定された。授与されたのは、高橋杏汰さん(国際学科4年)、新谷浩士さん(ロボット理工学科3年)、油上澤矢さん(心理学科4年)、都築栄詞さん(宇宙航空理工学科3年)、山崎伸明さん(コミュニケーション学科3年)、安岡涼介さん(歴史地理学科3年)、竹内陽茄晏さん(心理学科3年)の7人。



左から佐藤浩一UR都市機構中部支社住宅経営部長、都築さん、油上さん、新谷さん、石黒直樹春日井市長、山崎さん、安岡さん、竹内さん、細川健治学生部長

新一年生の森2024

学生サポーター主催の新一年生の森が、4月17日と24日の午後、不言実行館ACTIVE PLAZA3階プレゼンテーションルーム、1階アクティブホールで開催され、新入生32人と学生サポーター22人延べ54人が参加した。施設紹介やレクリエーションを実施し、他学科の学生と交流を深めた。



2023年度幸平塾「自分の強み発掘講座」

2月14日、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで2023年度幸平塾「自分の強み発掘講座」が開催され、学生13人が参加した。自己理解を深めるための個人ワークや、自分の持ち味を知るためのグループディスカッションなどを行った。



2023年度夢・チャレンジ「ちゅうらボ」最終報告会

2月27日、不言実行館ACTIVE PLAZA2階スチューデント・コモンズで夢・チャレンジ「ちゅうらボ」最終報告会が開催された。チャレンジコースから5団体、スタートアップコースから18団体がこの1年の活動の成果を発表した。



チーム名:爺婆チーム

西田鉄平さん(経営総合学科3年、寺澤朝子研究室)、白井音宇さん(同)、大角一彰さん(同)、佐々木誠さん(同)



地方創生賞



写真左から白井さん、西田さん、大角さん、佐々木さん

チーム名:ToiBridge

塩谷勇斗さん(経営総合学科3年、寺澤朝子研究室)、夏目優樹さん(同)、近藤成さん(同)



審査委員会特別賞



写真左から夏目さん、塩谷さん

チーム名:つながってなんぼ

熊野愛華さん(経営総合学科3年、清水真研究室)、八木悠希菜さん(同)、高橋陸斗さん(同)、横井京さん(同)、堀真代さん(同)



学び舎MOM賞



写真左から八木さん、堀さん、熊野さん、横井さん

※学生の学科・専攻・学年は開催(受賞)時のもの。

第10回

Business Design & Action Award 2023-2024 東海で5チームが受賞

2023年度12月23日にアート栄サロンホール(名古屋市)で開催された一般社団法人ビジネス・アクション・クラブ主催の「第10回 Business Design & Action Award 2023-2024 東海」で、経営総合学科から出場した5チームが受賞した。「ネッコワーキング」が3月14・15日に神田明神ホール(東京都)で開催された「第10回 Japan Business Design & Action Award 2023-2024」に出場し、ビジネスアスリート賞を受賞した。



チーム名:ネッコワーキング

村瀬歩見さん(経営総合学科3年、趙偉研究室)



東海ビジネスアイデアデザイン準グランプリ

(第10回 Japan Business Design & Action Award 2023-2024の出場権を獲得)



チーム名:VOLUNTEEN

鶴田風真さん(経営総合学科3年、寺澤朝子研究室)、荒木恵真さん(同)、富田鉄奈さん(同)、篠田穂太さん(同)



未来ビジネス賞



写真左から鶴田さん、荒木さん

新任の教員を紹介します。

①最終学歴 ②学位 ③専門分野 ④前職 ⑤趣味



作業療法学科
作業療法実習センター

ひらやま まさあき
平山 正昭
教授

①岐阜大学医学部医学科卒業 ②博士(医学)(名古屋大学) ③脳神経内科、腸内細菌 ④名古屋大学大学院医学系研究科総合保健学専攻准教授 ⑤読書、テニス、パソコン解析



食品栄養科学科

わたなべ たかし
渡部 貴志
准教授

①広島大学大学院生物圏科学研究科生物資源開発学専攻博士課程後期修了 ②博士(農学)(広島大学)、修士(工学)(広島大学) ③醸造学、応用微生物学、生物工学、農芸化学 ④群馬県立東毛産業技術センター光計測係独立研究員(主幹) ⑤弓道、散歩、食べ歩き



機械工学科

あさい とおる
浅井 徹
教授

①東京工業大学大学院理工学研究科制御工学専攻博士課程修了 ②博士(工学)(東京工業大学) ③制御工学・制御理論、制御系のパラメータ同定、制御工学教育 ④名古屋大学大学院工学研究科准教授 ⑤散歩、水泳



スポーツ保健医療学科

はせがわ ゆみ
長谷川 弓珠
助手

①中部大学大学院生命健康科学研究科保健医療学専攻修士課程修了 ②修士(保健医療学)(中部大学) ③健康・スポーツ科学 ④公益財団法人春日井市スポーツ・ふれあい財団 ⑤ゴルフ、旅行



応用生物学部

すぎもと たくみ
杉本 拓海
助手

①京都市立大学大学院生命環境科学研究科応用生命科学専攻博士後期課程修了 ②博士(農学)(京都市立大学) ③応用健康科学、分子生物学、細胞生物学、応用生物化学、食品科学、栄養学、スポーツ栄養学 ④前職なし ⑤フットサル、飲食店巡り、散歩



電気電子システム工学科

まつい たくと
松井 拓斗
助手

①中部大学大学院工学研究科電気電子工学専攻博士前期課程修了 ②修士(工学)(中部大学) ③電力工学、高電圧、大電流工学 ④東京電力パワーグリッド(株)多摩総支社武蔵野制御所 ⑤音楽、読書



救急救命教育・
実習センター
スポーツ保健医療学科

なかざき ひとし
中崎 仁
助手

①中京大学体育学部体育科学科卒業 ②学士(体育学)(中京大学) ③なし ④春日井市消防本部 ⑤釣り



看護実習センター
保健看護学科

おおの たかこ
大宮 孝子
特任教授

①国立豊橋病院附属看護専門学校卒業 ②該当なし ③基礎看護学、看護管理 ④名古屋大学医学部附属病院看護部看護部長補佐 ⑤歌舞伎文楽鑑賞、神社仏閣めぐり、ミステリー読書



ロボット理工学科

かわむら なおき
河村 尚輝
講師

①千葉大学大学院融合理工学府基幹工学専攻博士後期課程修了 ②博士(工学)(千葉大学) ③パワーエレクトロニクス、モータドライブ、制御工学、ロボティクス ④成蹊大学理工学部助教 ⑤電子工作、映画鑑賞、料理



幼児教育学科

いのうえ かなこ
井上 香奈子
教授

①愛知教育大学大学院教育学研究科学校教育専攻発達臨床心理学専攻修了 ②修士(教育学)(愛知教育大学) ③社会福祉学、臨床心理学 ④愛知県豊田加茂福祉相談センターセンター長 ⑤散歩、旅行、読書



保健看護学科
看護実習センター

ふくしま みき
福嶋 美貴
講師

①旭川医科大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程修了 ②修士(看護学)(旭川医科大学) ③精神看護学 ④金城学院大学看護学部看護学科助教 ⑤テニス、スポーツ観戦、ドライブ



心理学科

もとき さちえ
元木 幸恵
講師

①京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程満期退学 ②博士(教育学)(京都大学) ③臨床心理学 ④愛知淑徳大学学生相談室助教 ⑤ゴルフ、食べ歩き、旅行



幼児教育学科

ひろた なおこ
廣田 直子
准教授

①浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程修了 ②修士(看護学)(浜松医科大学) ③母子保健、子育て支援、子どもの保健 ④田原市役所こども健康部親子交流館館長 ⑤旅行、茶華道、トレッキング



保健看護学科
看護実習センター

ふじかど やよい
藤門 弥生
助教

①中部大学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程修了 ②修士(教育学)(中部大学) ③公衆衛生看護学、地域看護学 ④金城学院大学看護学部看護学科助手 ⑤ステンドグラス、フラワーアレンジ



食品栄養科学科

きたうら やすゆき
北浦 靖之
教授

①名古屋大学大学院生命農学研究科応用分子生命科学専攻博士後期課程修了 ②博士(農学)(名古屋大学) ③栄養化学 ④名古屋大学大学院生命農学研究科講師 ⑤スポーツ観戦、ドライブ



現代教育学科

いと けんたろう
糸 健太郎
教授

①東京工業大学大学院理工学研究科数学専攻博士課程修了 ②博士(理学)(東京工業大学) ③数学(幾何学) ④名古屋大学大学院多元数理科学研究科准教授 ⑤読書、自然の中を歩く、メダカの飼育



看護実習センター
保健看護学科

つねかわ ゆうた
恒川 祐太
助手・実習講師

①藤田保健衛生大学医療科学部看護学科卒業 ②学士(看護学)(藤田保健衛生大学) ③看護学 ④藤田医科大学病院ICU病棟看護師 ⑤集中治療医学の勉強、アウトドア、車



食品栄養科学科

さくま なおみ
佐久間 直緒美
准教授

①神奈川工科大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程満期退学 ②博士(工学)(神奈川工科大学) ③栄養教育・食育、学校給食 ④横浜市立学校栄養教諭 ⑤旅行、スポーツ、料理



教職課程センター

はらだ のぶゆき
原田 信之
教授

①創価大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程満期退学 ②博士(教育学)(創価大学) ③学校教育学、カリキュラム論、教育方法学、ドイツ教授学 ④名古屋市立大学大学院人間文化研究科教授 ⑤ウォーキング、スキー、温泉



人間力創成教育院

たけうち みと
竹内 美都
准教授

①オハイオ大学大学院教育学研究科博士課程修了 ②博士(学術)(オハイオ大学) ③教育社会学、外国語教育 ④岡崎女子大学子ども教育学部講師 ⑤アクアピクス、料理、読書



現代教育学科

ひぐち まんたろう
樋口 万太郎
准教授

①京都教育大学大学院連合教職実践研究科専門職学位課程修了 ②教職修士(専門職)(京都教育大学) ③算数・数学教育学 ④香里ヌヴェール学院小学校教諭 ⑤野球観戦、音楽鑑賞、旅行

新刊紹介



中小企業の国際化
「内なる国際化」から「複数国展開」へ

共著者 寺澤朝子教授(経営総合学科)
発行 中央経済社 2023年12月7日
定価 3,300円+税



イタリアのデザイン経営
—EV、ファッション、インテリアの事例—

著者 小山太郎講師
(人間力創成教育院教職課程教育プログラム(人文・社会リテラシー))
発行 三恵社 2024年2月14日
定価 3,200円+税



ケベックを知るための56章
【第2版】

共著者 梅川佳子准教授(経営総合学科)
発行 明石書店 2024年2月18日
定価 2,000円+税



協同学習・LTD(話し合い学習法)
授業モデルによる
英語リーディング授業の改善と成果

著者 和田珠実准教授
(人間力創成教育院語学教育プログラム(英語))
発行 一粒書房 2024年2月22日
定価 2,000円+税



大学の喪失 その再生への期待
詩人ウェンデル・ベリーの教育論

訳者 鈴木順子教授(創造的リベラルアーツセンター)、
宗宮弘明名誉教授
発行 風媒社 2024年3月20日
定価 800円+税



楷書の魅力—技法と表現

著者 原田淳谷教授
(人間力創成教育院教職課程教育プログラム(人文・社会リテラシー))
発行 書芸文化新社 2024年3月25日
定価 2,000円+税

Random Shot

第196回

「学生時代にキャリア支援課の職員の方が親身に対応してくださり、学生をサポートする仕事も素敵だなと思いました」
学生の皆さんへ「社会人になってからも人とのつながりは大切です。1万人以上の学生がワンキャンパスに集まっているので、同じ学部生だけでなく、多くの学生、そして教職員の方と交流してほしいと思います」とメッセージを送る。

人とのつながりを大切に

1号館3階にある理事長・総長室で主に秘書業務を担当する飯沼さん。秘書業務以外にも女性活躍推進室や中高大連携、スポーツブランドینگ推進室など学園全体をカバーする幅広い業務を担当する。女性活躍推進室では、教職員が継続就業しやすい環境整備、女子学生増加策や支援体制整備に向けた検討のため、教職員・学生向けのアンケートを行った。その結果を受けて、今年度から学内15箇所の女性トイレに生理用品の無償設置を開始している。また、男性教職員が育児休業を取得しやすい環境整備のため、「育児休業取得者に対する管理職対応フロー」の作成・周知を行った。すると2023年度の男性の育児休業取得者が前年度の0人から5人に増加したという。「生理用品の無償配布は学生や教職員に好評で、支援策を実現できて良かったです。男性教職員の育児休業取得者も増えているようでうれしいです。今後も学生や教職員の意見を基に、ニーズに沿った新しい企画や取り組みを行っていききたいです」

女性活躍推進業務の一端も担当



理事長・総長室
飯沼 友季子さん

趣味は旅行とバイオリン。毎年大学時代の友人と旅行に行く。今年は屋久島に行き、スキューバダイビングと縄文杉を見るために10時間のトレッキングを行う予定。バイオリンは2年ほど前から始め、自前のバイオリンで練習をしている。



IFデザイン、レッドドットデザインの最優秀賞を獲得した際の授賞式で(左から2人目が川合さん)

カロツェリア・カワイ
株式会社
代表取締役

川合 辰弥さん
1999(平成11)年度機械工学科卒業

デザインの力で 製品と企業の価値を高める

世界的なデザイン賞の 数々を受賞

テーブルウェア・キッチンウェア・インテリア・住宅設備機器・家電・建築建材・産業機器・ロボット・モビリティなど多岐にわたるプロダクトデザインを手掛けるカロツェリア・カワイ株式会社の川合辰弥さん。世界三大デザイン賞の一つでデザイン界のオスカーとも呼ばれる「iFデザイン賞」の世界ランキングで『世界のトップ100デザインスタジオ』に2年連続で選定、レッドドットデザイン賞で最優秀賞など多数の受賞歴を持つ。世界のトップブランド・トップデザイナーが名を連ねる中、川合さんも華やかなレッドカーペットの舞台に立った。

「フェラーリのレジェンドデザイナー、フラビオ・マンゾーニ氏からも私たちの仕事に対して賞賛の言葉をいただき、大きな自信となりました」

工業デザインから 企業ブランディングへ

川合さんは本学の機械工学科を卒業後、自動車メーカーに勤務し、主に

エンジン・トランスミッション・ハイブリッドシステムなど内部駆動ユニットの開発に携わった。「ある機能の複数の自動車部品の一体化を考案し、当時最先端だったヴァーチャル技術を駆使して具体的に可視化して提案したところ、大幅なコストカットに成功しました。その事例が社内でヴァーチャル技術活用の成功例として紹介され反響を集めました」

デザインは独学で学んだ。「絵は小さいころから得意でしたが、学校等で専門的なスケッチ等のデザイン手法を学んだことはなく独学とあわせて、親しいデザイナーに頼んで教えてもらいました。デザインは感性を磨くことが大切で、積極的にいろいろな人や文化に触れるようにしています」。世界最先端のヴァーチャル設計技術に触れて、それらのツールを使いこなすようになり、少数精鋭でも世の中の人たちが驚くようなものを創り出せると思い、起業に踏み切った。

当初は自社製品の開発からスタートし、そのデザインとブランディングが注目され、他社から製品デザインやブランドプロデュースの依頼が集まるよ

うになった。さらに世界的なデザイン賞の受賞で注目が集まり、海外からの仕事の依頼も増加。名古屋市内にあるオフィスに突然、外国企業の重役が訪ねてきたこともあるという。

「世界をフィールドに、より多くの社会や企業の課題をデザインとテクノロジーの力で解決する企業として、今後も課題に取り組みながら進化し、お役に立てる企業であり続けたいと思います」と穏やかに語る。

世界を舞台に 活躍するイメージを

学生の皆さんに「世界で活躍するイメージを持って学ぶと良いと思います。特に語学はどのような職種でも役立ちます。私も大学生の時にもっとしっかり学んでおけば良かったと思いました。日本市場は縮小傾向にありますが、成長を続けている国では日本人が活躍するチャンスは確実に多くあります。中部大学はワンキャンパスの総合大学で、さまざまなことを学べる素晴らしい環境だと思います。大学生活を謳歌してください」とメッセージを送る。



う ら 話



2024年度入学式



▲入学生代表宣誓



▲講堂(体育館)からオリエンテーション会場へ移動



動誘のピラを受け取る新入生 ▶

4月1日、2024年度入学式が講堂(体育館)で挙行されました。2023年度に続いて会場は新入生のための参加とし、3部制で行われました。不言実行館ACTIVE PLAZA1階アクティブホールと2階スチューデント・commonsにはサテライト会場が設けられ、多くの付添者がライブ配信を視聴しました。

また同日、クラブ勧誘企画の春一祭でピラ配りが行われました。9号館下のメインストリートには多くのクラブ・公認団体の学生がピラを配ったり、ポスターを掲示したりして新入生にアピールしました。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中部大学には素敵な先輩や先生、親切な職員がいます。いろいろな人と交流して学生生活^{おうち}を謳歌してくださいね。

編集 後記

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中部大学での生活も2カ月が経ち新しい環境には慣れましたか?これからさまざまなイベントが開催されます。積極的に参加して学部を超えて友達をたくさん作って楽しい4年間にしてくださいね。今号から新コーナー「Close Up」(P05)が始まりました。これからは学生、保護者の皆さん、教職員の皆さんに役立つコーナーを考えていきます。今年度も『ウプト』をよろしくお願いいたします。

中部大学通信 ウプト No.229

発行日/2024年5月31日
発行/中部大学ウプト編集委員会
編集/学園広報部 制作課
〒487-8501春日井市松本町1200
<https://www.chubu.ac.jp/>
Tel:0568-51-4465(制作課直通)
E-mail:cuinfo@office.chubu.ac.jp